

伊藤典子先生の定年退職にあたって

日本大学経済学部長 小 柳 治 宣

伊藤先生は、昭和63年2月より、平成26年11月までの26年余り、本学の専任教員として教壇に立たれた。長い間本当にありがとうございました。

ここで、伊藤先生の経歴と職歴について簡単にご紹介します。伊藤先生は昭和19年生れ。都内の中学・高校をご卒業後、昭和42年12月にミシガン州立西ミシガン大学教養学部社会科学学科をご卒業になり、帰国後、一時期、民間企業に勤務されましたが、退職後、本学商学部や帝京大学で仏語の非常勤講師を、また本学松戸歯学部・生産工学部・文理学部、目白学園女子短期大学部ならびに亜細亜大学で英語の非常勤講師などを歴任されました。昭和62年8月に、私立コロンビア大学大学院語学教育研究科修士課程に入学、平成元年に同課程を修了され、TESOL（英語母語者ではない人に英語を教える）の資格を取得されました。そして、昭和63年2月より、日本大学医学部にて「仏語」担当の専任講師として着任されました。平成5年4月から1年間、NHK ラジオ第二放送「上級・基礎英語」の講師もなされています。そして平成6年4月に医学部より本学部に「英語」担当の専任講師として異動され、平成7年に助教授、平成13年には教授に昇格されました。

定年を迎えられるまで学部の授業では、英語コミュニケーション、メディア英語B、メディア授業Ⅰ・Ⅱ（国際コースの科目）、教養研究（一）（二）（ゼミナール）、研究論文、基礎研究などをご担当いただきました。また、伊藤先生は、日本大学総合社会情報研究科前期課程・後期課程の教授も兼任されています。このような教育活動のかたわら、日本フランス語教育学会、大学英語教育学会、日本フランス語フランス文学会、日本時事英語学会に所属され、なかでも日本時事英語学会では理事も務められたりし、学会活動でもご活躍しておられます。学内での行政活動では、在職期間中、学生担当（学生生活委員会委員長）、図書館副館長などを担当され、入試問題作成委員としても英語の問題の作成にもご尽力いただきました。

研究面でのご活躍にも特筆すべきものがあります。「研究業績一覧」に記されていますように、伊藤先生は、言語学、英語学、外国語教育以外に社会言語学、社会学といった幅広分野で研究活動をされています。言うまでもなく、これらに関する多くの研究論文や著書の他に、英語の教材作成にも精力的に取り組まれ、学生達に英語の語学力を高めるためのエクササイズと語彙・語法を作成して、毎年教科書を刊行されています。

伊藤先生には、本学の学生の語学力の向上に長い間ご尽力を賜りました。本当にありがとうございました。

伊藤先生の今後ますますのご健勝とご活躍を祈念申し上げて、巻頭の辞といたします。